

令和 3 年 4 月 2 日現在

機関番号：82684

研究種目：基盤研究(C)（一般）

研究期間：2018～2020

課題番号：18K08056

研究課題名（和文）心不全患者の医療チームによる多面的評価と医師患者間のギャップの検証

研究課題名（英文）Difference between medical professionals and patients in evaluating heart failure status

研究代表者

吉川 勉（Yoshikawa, Tsutomu）

公益財団法人日本心臓血圧研究振興会（臨床研究施設・研究部門）・内科医局・副院長・部長

研究者番号：20174906

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 3,400,000円

研究成果の概要（和文）：7施設に入院する非代償性心不全患者のデータベースを構築し、様々な側面から検討を行った。高齢者心不全における栄養状態指標、入院日数・入院回数がその後の予後に及ぼす影響、短時間・長時間作用型利尿薬、収縮能の保たれた心不全における左室径、入院時血糖値、標準的治療薬の効果の男女差、標準的治療薬投与に及ぼす低栄養の影響、急性期陽圧呼吸管理の意義、退院時BNP測定の意義、入院中の尿酸値の変動、CTで評価した腸腰筋量の意義、突然死予測モデルの検証、他院後早期・中期の再入院の予後に及ぼす影響などについて成果を公表した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本邦における代表的な循環器診療施設における急性心不全の診療実態が明らかとなった。海外の該当するデータベースと比較することにより、その違いはより鮮明となった。介入型臨床試験では反映されなかったより医療現場に近い心不全患者の病態、合併症、予後が明らかとなった。今後の心不全患者の医療政策を考えるうえで貴重なデータベースと考える。

研究成果の概要（英文）：We constructed large-scale database on decompensated heart failure in 7 major cardiovascular centers, and investigated multiple aspects of pathophysiology and clinical outcome. We revealed significance of nutritional status, length of hospital stay, multiple hospitalizations, type of diuretics, chamber size of heart failure with preserved ejection fraction, gender difference in guideline based medical therapy, effect of malnutrition on medical therapy, positive pressure ventilation, measurement of predischarge BNP level. We further elucidated change of uric acid level during hospitalization, psoas muscle mass evaluated by CT image, validation of sudden cardiac death prediction model, early and mid-term rehospitalization after discharge. These findings will shed light on the future prospect and health care policy for real world heart failure in our country.

研究分野：循環器内科学

キーワード：心不全 レジストリー 入院期間 再入院 突然死

1. 研究開始当初の背景

循環器疾患に対する急性期治療の進歩により、心筋梗塞を初めとする各種虚血性心疾患の急性期死亡が格段に減少した。しかし一方で、遠隔期に急性期を生存した患者が心不全となって再入院することが問題となっている。循環器専門医の在籍する主要病院に限られた統計ではあるが、最近のデータによれば、本邦において急性非代償性心不全で入院する患者数は年間30万例と言われている。現状でもすでに100万人、2030年には130万人(全人口の1.2%程度)にまで心不全患者は増加すると予測されている(Circ J 2008;72:489-491)。さらに、人口の高齢化に伴って心不全患者も高齢化しており、従来のガイドラインに記載されたエビデンスに基づく標準的治療が奏功する収縮機能の低下した心不全(HFREF)は相対的に少なくなっている。実際に、我々が運営するWET-HFレジストリーを含めた本邦の大規模心不全コホート(ATTEND, REALITY-AHF)約9000例のデータでは、最近10年間で院内死亡率は8%から5%前後まで改善を認めているが、1年死亡率(20%)や1年心不全再入院率(30%)は大きな改善が見られていない(投稿中)。また、心不全患者は他合併症(脳卒中、出血など)を発症することもまれではないが、これらを心不全患者で前向きに評価した研究は少なく、今後調査が必要である。

2. 研究の目的

心不全患者のQOLや医師患者間の認識のギャップを評価するために、入院中また退院後外来での複数の時点での評価を行い、これらの項目と患者背景や治療内容との関連を検索し、新たな介入ポイントを模索する。また、死亡や再入院はもちろんのこと、脳卒中・出血などの合併症についても前向きに調査を行う。退院後に施行された侵襲的な手技(例: TAVI/MitraClip、Ablationなど)について調査を行い、リアルワールドでのこれら治療法の効果についても評価する。我々はこれまでに国内および海外の他レジストリーと共同研究を続けてきており、上記評価項目を含めた国際共同研究も引き続き行っていく予定である。

3. 研究の方法

A. 平成30年度計画: 心不全データベースの修正と患者登録開始

追加入力項目の選定と作成

入力項目の選定はデータベースの質を決定する上できわめて重要である。我々は、本研究に先立ってプロトタイプとなり得るデータベースをすでに構築しており、Quality Indicator(QI指標)、患者在宅環境や社会サービス、QOLや病状認識、そして予後項目として他合併症の項目を追加して、新フォーマットを作成する。

大項目としては、患者背景因子などの基本情報はもとより、施行施設名の記載も行う。在宅環境や社会サービスの利用についても含まれる。なお、患者氏名や施行施設名は個人情報と関係するために外部から判別できないように暗号化する。そして、入院時のバイタルサイン、検査所見(採血、心電図、心エコー、

心臓 MRI/CT、心肺運動負荷検査、心臓カテーテル検査など） 治療の内容、その後のバイオマーカー値の推移、さらには 予後、合併症の有無も厳密な定義に基づき入力する。 ~ すべてをカバーするにあたり一症例について計 250 項目程度の入力が必要となる。

患者登録

慶應義塾大学病院・榊原記念病院・杏林大学病院・聖路加国際病院、埼玉医科大学国際医療センター、東京都済生会中央病院、国立病院機構東京医療センター循環器内科に入院する心不全急性増悪患者を対象とする。年齢は 20 歳以上、性別は問わない。急性冠症候群や過去に既に本研究に登録されている患者は対象外とする。心不全に対する検査、治療は通常通りとする。臨床研究倫理指針に基づき同意書は取得せず、院内掲示による包括同意とする。入院中に行った血液検査、胸部レントゲン検査、心電図検査、心エコー検査、核医学検査、心カテーテル検査、肺機能検査、睡眠時無呼吸検査などの結果を登録する。入院中の治療内容や有害事象についても記録する。研究目的の質問紙票の記入に別途口頭同意が得られた場合には、退院前および外来時に複数の時点で前述アンケート記載を依頼する。得られたデータは 7 施設間共通データベースとして保存管理する。

B. 平成 30 年度以降計画：患者登録とフォローアップ継続、メンテナンス

データの継続的な収集とメンテナンス

定期的な施設間ミーティング(3~6 ヶ月毎)を開き、登録状況やその他問題点について議論し、また入力フォームの不具合などハード面のメンテナンスも併行して行う。退院後 1 年ごとに担当医による予後調査を行う。退院後 1 年間経過観察が終了した症例を対象にデータ解析を行う。予後規定因子を抽出し、その規定因子を修飾する介入方法を模索する。

研究成果の発信方法

研究の手法や方向性に対して外部からのフィードバックを受け、その成果を今後の心不全診療の改善に生かすため、ステークホルダーへの結果報告を印刷物の配布、セミナーなどにおけるプレゼン、国内外での学会発表および論文などの形で積極的に実施したい。特に海外の学会における研究結果の発表は、同分野で先んじている欧米の循環器臨床研究分野の研究者に対して、日本の科学的な貢献とプレゼンスを再認識させるとともに、今後の研究の提案などの下地ともなる。国内においても、データベースから発信した内容を学会の市民公開講座や東京都 CCU ネットワーク会議などを通じ、患者サイドや救急現場へと積極的にフィードバックをかけるための資料として用いる。

4. 研究成果

(1) 平成 30 年度

高齢者心不全の予後予測因子として栄養状態を反映する指標が注目されている。

我々は簡便な指標である geriatric nutritional risk index に着目し、入院時と退院時の指標の意義について検討した。入院時よりも退院時の指標の方が鋭敏に長期予後を予測することが明らかとなった。

(2) 令和1年度

入院日数が退院後の予後に及ぼす影響について検討した。入院期間が 13 - 15 日で退院後の予後は最も良好であり、それ以上短くても長くても予後は不良であることが明らかとなった。さらに、今までの入院回数と予後との関係についても検討した。今までの入院回数が単回である場合よりも、複数回である場合の方がその後の予後は不良であることが明らかとなった。

(3) 令和2年度

短時間作用型と長時間作用型利尿薬の予後に及ぼす影響、収縮能の保たれた心不全例における左室径の予後への影響、急性心不全入院時の血糖値の予後に及ぼす影響、心不全に対する標準的治療薬の男女差、心不全に対する標準的治療薬投与に及ぼす低栄養の影響、急性期陽圧換気呼吸管理の意義、退院時 BNP 測定の意味などについて学会報告した。心不全における突然死予測モデルの検証、急性心不全による退院後早期・中期の再入院の予後に及ぼす影響、心不全入院期間中の尿酸値の変化が予後に及ぼす影響、入院時における院内死亡の予測因子の評価、CT で評価した腸腰筋量と心不全の予後との関係などについて多くの論文を公表することができた。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計25件（うち査読付論文 22件／うち国際共著 1件／うちオープンアクセス 7件）

1. 著者名 Fukuoka R, Kohno T, Kohsaka S, Shiraishi Y, Sawano M, Abe T, Nagatomo Y, Goda A, Mizuno A, Fukuda K, Shadman R, Dardas TF, Levy WC, Yoshikawa T	4. 巻 22
2. 論文標題 Prediction of sudden cardiac death in Japanese heart failure patients: international validation of the Seattle Proportional RiskModel.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Europace	6. 最初と最後の頁 588-597
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1093/europace/euaa002	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する
1. 著者名 Kitakata H, Kohno T, Kohsaka S, Shiraishi Y, Parizo JT, Niimi N, Goda A, Nishihata Y, Heidenreich PA, Yoshikawa T	4. 巻 9
2. 論文標題 Prognostic Implications of Early and Mid-range Readmissions after Acute Heart Failure Hospitalizations: A Report from Japanese Multicenter Registry.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 J Am Heart Assoc	6. 最初と最後の頁 e014949
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1161/JAHA.119.014949	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -
1. 著者名 Yamamoto H, Nagatomo Y, Mahara K, Yoshikawa T	4. 巻 26
2. 論文標題 In-hospital serum uric acid change predicts adverse outcome in patients with heart failure.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 J Card Fail	6. 最初と最後の頁 968-976
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1016/j.cardfail.2020.07.002	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 Shiraishi Y, Kohsaka S, Abe T, Nagai T, Goda A, Nishihata Y, Nagatomo Y, Saji M, Toyosaki Y, Takei M, Kitai T, Kohno T, Fukuda K, Matsue Y, Anzai T, Yoshikawa T	4. 巻 23
2. 論文標題 Derivation and Validation of Clinical Prediction Models for Rapid Risk Stratification for Time-Sensitive Management for Acute Heart Failure.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 J Clin Med	6. 最初と最後の頁 3394
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.3390/jcm9113394	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Funamizu T, Nagatomo Y, Saji M, Iguchi N, Daida H, Yoshikawa T	4. 巻 16
2. 論文標題 Low muscle mass assessed by psoas muscle area is associated with clinical adverse events in elderly patients with heart failure.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 PLOS ONE	6. 最初と最後の頁 e0247140
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0247140	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Akita K, Kohno T, Kohsaka S, Shiraishi Y, Nagatomo Y, Goda A, Mizuno A, Sujino Y, Fukuda K, Yoshikawa T	4. 巻 83
2. 論文標題 Prognostic impact of previous hospitalization in acute heart failure patients	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Circ J	6. 最初と最後の頁 1261-1268
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1253/circj.CJ-18-1087	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Komuro J, Nagatomo Y, Mahara K, Isobe M, Goda A, Sujino Y, Mizuno A, Shiraishi Y, Kohno T, Kohsaka S, Yoshikawa T	4. 巻 1
2. 論文標題 Clinical scenario classification for characterization and outcome prediction of patients with acutely decompensated heart failure under contemporary phenotyping.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Circ Rep	6. 最初と最後の頁 162-170
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1253/circrep.CR-18-0013	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sato Y, Yoshihisa A, Oikawa M, Nagai T, Yoshikawa T, Saito Y, Yamamoto K, Takeishi Y, Anzai T	4. 巻 25
2. 論文標題 Prognostic impact of worsening renal function in hospitalized heart failure patients with preserved ejection fraction -A report from the JASPER Registry.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 J Card Fail	6. 最初と最後の頁 631-642
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.cardfail.2019.04.009	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Sato Y, Yoshihisa A, Oikawa M, Nagai T, Yoshikawa T, Saito Y, Yamamoto K, Takeishi Y, Anzai T	4. 巻 60
2. 論文標題 Relation of systolic blood pressure on the following day with post-discharge mortality in hospitalized heart failure patients with preserved ejection fraction.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Int Heart J	6. 最初と最後の頁 876-885
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1536/ihj.18-699	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ieki H, Nagatomo Y, Tsugu M, Mahara K, Iguchi N, Isobe M, Yoshikawa T	4. 巻 25
2. 論文標題 Pulmonary Artery to Aorta Ratio by CT on the Clinical Outcome in Heart Failure.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 J Card Fail	6. 最初と最後の頁 886-893
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.cardfail.2019.05.005	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Moriyama H, Kohno T, Kohsaka S, Shiraishi Y, Fukuoka R, Nagatomo Y, Goda A, Mizuno A, Fukuda K, Yoshikawa T	4. 巻 34
2. 論文標題 Length of hospital stay and its impact on subsequent early readmission in patients with acute heart failure: a report from the WET-HF Registry.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Heart Vessels	6. 最初と最後の頁 1777-1788
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00380-019-01432-y	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Takei M, Kohsaka S, Shiraishi Y, Goda A, Nagatomo Y, Mizuno A, Sujino Y, Kohno T, Fukuda K, Yoshikawa T	4. 巻 25
2. 論文標題 Heart Failure with Mid-Range Ejection Fraction in Patients Admitted for Acute Decompensation: A Report from the Japanese Multicenter Registry.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 J Card Fail	6. 最初と最後の頁 666-673
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.cardfail.2019.05.010	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Omote, Nagai T, Kamiya K, Aikawa T, Tsujinaga S, Kato Y, Komoriyama H, Iwano H, Yamamoto K, Yoshikawa T, Saito Y, Anzai T	4. 巻 25
2. 論文標題 Long-term prognostic significance of admission tricuspid regurgitation pressure gradient in hospitalized heart failure patients with preserved ejection fraction: a report from the Japanese real-world multicenter registry.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 J Card Fail	6. 最初と最後の頁 978-985
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.cardfail.2019.07.010	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Sujino Y, Nakano S, Tanno J, Shiraiishi Y, Goda A, Mizuno A, Nagatomo Y, Kohno T, Muramatsu T, Nishimura S, Kohsaka S, Yoshikawa T and for the West Tokyo Heart Failure Registry Investigators	4. 巻 6
2. 論文標題 Clinical implications of the blood urea nitrogen/creatinine ratio in heart failure are dependent on haemoconcentration.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 ESC Heart Fail	6. 最初と最後の頁 1274-1282
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/ehf2.12531	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Omote K, Nagai T, Iwano H, Tsujinaga S, Kamiya K, Aikawa T, Konishi T, Sato T, Kato Y, Komoriyama H, Kobayashi Y, Yamamoto K, Yoshikawa T, Saito Y, Anzai T	4. 巻 7
2. 論文標題 Left ventricular outflow tract velocity time integral in hospitalised heart failure with preserved ejection fraction.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 ESC Heart Fail	6. 最初と最後の頁 167-175
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/ehf2.12541	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kobayashi Y, Omote K, Nagai T, Kamiya K, Konishi T, Sato T, Kato Y, Komoriyama H, Tsujinaga S, Iwano H, Yamamoto K, Yoshikawa T, Saito Y, Anzai T	4. 巻 125
2. 論文標題 Prognostic Value of Serum Uric Acid in Hospitalized Heart Failure Patients with Preserved Ejection Fraction: From the Japanese Nationwide Multicenter Registry.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Am J Cardiol	6. 最初と最後の頁 772-776
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.amjcard.2019.12.003	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tenma T, Nagai T, Watanabe M, Kamada Rui, Takahashi Y, Hagiwara H, Koya Taro, Nakao M, Omote K, Kamiya K, Iwano H, Yamamoto K, Yoshikawa T, Saito Y, Anzai T	4. 巻 84
2. 論文標題 Differential prognostic impact of atrial fibrillation in hospitalized heart failure patients with preserved ejection fraction with and without coronary artery disease: A report from the Japanese nationwide multicenter registry.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Circ J	6. 最初と最後の頁 397-403
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1253/circj.CJ-19-0963	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Iwakami N, Nagai T, Furukawa TA, Tajika A, Onishi A, Nishimura K, Ogawa S, Nakai S, Takegami M, Nakano H, Kawasaki Y, Alba AC, Guyatt GH, Shiraishi Y, Kohsaka S, Kohno T, Goda A, Mizuno A, Yoshikawa T, Anzai T	4. 巻 121
2. 論文標題 Optimal Sampling in Derivation Studies is Associated with Improved Discrimination in External Validation for Heart Failure Prognostic Models.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 J Clin Epidemiol	6. 最初と最後の頁 71-80
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jclinepi.2020.01.011	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Sawano M, Shiraishi Y, Kohsaka S, Nagai T, Goda A, Mizuno A, Sujino Y, Nagatomo Y, Kohno T, Anzai T, Fukuda K, Yoshikawa T	4. 巻 5
2. 論文標題 Performance of the MAGGIC heart failure risk score and its modification with the addition of discharge natriuretic peptides in Japanese acute heart failure patients	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 ESC Heart Fail	6. 最初と最後の頁 610-619
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/ehf2.12278	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nagai T, Sundaram V, Shoaib A, Shiraishi Y, Kohsaka S, Rothnie KJ, Piper S, McDonagh TA, Hardman SMC, Goda A, Mizuno A, Sawano M, Rigby AS, Quint JK, Yoshikawa T, Clark AL, Anzai T, Cleland JGF	4. 巻 20
2. 論文標題 Validation of U.S. Mortality Prediction Models for Hospitalised Heart Failure in The United Kingdom and Japan	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Eur J Heart Fail	6. 最初と最後の頁 1179-1190
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/ejhf.1210.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nagai T, Sundaram V, Rothnie KJ, Quint JK, Shoaib A, Shiraishi Y, Kohsaka S, Piper S, McDonagh TA, Hardman SMC, Goda A, Mizuno A, Kohno T, Rigby AS, Yoshikawa T, Clark AL, Anzai T, Cleland JGF	4. 巻 5
2. 論文標題 Mortality after Admission for Heart Failure in Japan Compared to The United Kingdom: Is East or West Best?	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Open Heart	6. 最初と最後の頁 e0000811
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1136/openhrt-2018-000811.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Shiraishi Y, Nagai T, Kohsaka S, Dicken B, Goda A, Nagatomo Y, Mizuno A, Kohno T, Rigby A, Fukuda K, Yoshikawa T, Clark AL, Cleland JGF	4. 巻 107
2. 論文標題 Outcome of Hospitalized Heart Failure in Japan and the United Kingdom Stratified by Plasma N-Terminal Pro-BNP	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Clin Res Cardiol	6. 最初と最後の頁 1103-1110
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00392-018-1283-6.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Shiraishi Y, Kohsaka S, Sato N, Takano T, Kitai T, Yoshikawa T, Matsue Y	4. 巻 7
2. 論文標題 9-year Trend in the Management of Acute Heart Failure in Japan: A Report from the National Consortium of Acute Heart Failure Registries	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 J Am Heart Association	6. 最初と最後の頁 e008687
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1161/JAHA.118.008687.	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Shiraishi Y, Kohsaka S, Nagai T, Goda A, Mizuno A, Nagatomo Y, Sujino Y, Fukuoka R, Sawano M, Kohno T, Fukuda K, Anzai T, Shadman R, Dardas T, Clevey W, Yoshikawa T	4. 巻 999
2. 論文標題 Validation and Recalibration of Seattle Heart Failure Model in Japanese Acute Heart Failure Patients	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 J Card Fail	6. 最初と最後の頁 999
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.cardfail.2018.07.463.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Higuchi S, Kohsaka S, Shiraishi Y, Katsuki T, Nagatomo Y, Mizuno A, Sujino Y, Kohno T, Goda A, Yoshikawa T; West Tokyo Heart Failure (WET-HF) Registry Investigators	4. 巻 62
2. 論文標題 Association of Renin-Angiotensin System Inhibitors with Long-Term Outcomes in Patients with Systolic Heart Failure and Moderate-to-Severe Kidney Function Impairment	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Eur J Int Med	6. 最初と最後の頁 58-66
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ejim.2019.01.014	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計33件 (うち招待講演 3件 / うち国際学会 3件)

1. 発表者名 河野隆志 香坂俊 白石泰之 合田あゆみ 西畑康介 佐地真育 武井眞 長友祐司 吉川勉
2. 発表標題 ガイドラインが推奨する診療を高年齢者心不全に対してどう実践すべきか
3. 学会等名 第24回日本心不全学会 シンポジウム17「高年齢者心不全の治療介入ポイントはどこにある？」(招待講演)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 河野隆志 香坂俊 白石泰之 北方博規 庄司聡 水野篤 吉川勉
2. 発表標題 心不全緩和ケア・アドバンスケアプランニングをリスクモデルという観点から再考する
3. 学会等名 第24回日本心不全学会 シンポジウム35「リスクに基づくテーラーメイド治療(リスク評価)」(招待講演)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 白石泰之 香坂俊 合田あゆみ 長友祐司 佐地真育 西畑康介 武井眞 河野隆志 福田恵一 吉川勉
2. 発表標題 絶対リスクに基づく急性心不全診療
3. 学会等名 第24回日本心不全学会 シンポジウム35「リスクに基づくテーラーメイド治療(リスク評価)」(招待講演)
4. 発表年 2020年

1 . 発表者名 Imaeda S, Shiraishi Y, Niimi N, Goda A, Nagatomo Y, Nishihata K, Takei M, Toyosaki Y, Ikegami Y, Kohno T, Fukuda K, Kohsaka S, Yoshikawa T
2 . 発表標題 Association of short-acting versus long-acting loop diuretics with long-term outcomes in patients hospitalized for acute heart failure.
3 . 学会等名 24th Japanese HF Society Meeting, YIA Clinical
4 . 発表年 2020年

1 . 発表者名 Yamazaki Y, Shiraishi Y, Kohsaka S, Goda A, Nagatomo Y, Nishihata Y, Saji M, Takei M, Toyosaki Y, Ikegami Y, Kohno T, Fukuda K, Yoshikawa T
2 . 発表標題 Alteration in diuretic strategy after an update on the clinical practice guideline recommendations for acute heart failure management in Japan.
3 . 学会等名 24th Japanese HF Society Meeting, YIA Clinical
4 . 発表年 2020年

1 . 発表者名 Imaeda S, Shiraishi Y, Niimi N, Goda A, Nagatomo Y, Nishihata Y, Takei M, Toyosaki Y, Kohno T, Fukuda K, Kohsaka S, Yoshikawa T
2 . 発表標題 Association with Short-acting vs. Long-acting Type Loop Diuretics and Long-term Clinical Outcomes in Patients Hospitalized with Acute Heart Failure.
3 . 学会等名 Japanese Circulation Society Meeting
4 . 発表年 2020年

1 . 発表者名 Ogawa S, Nagatomo Y, Mahara K, Sakata Y, Isobe M, Yoshikawa T
2 . 発表標題 Time-dependent Enlargement of Left Ventricular Size Predicts Clinical Adverse Events in Patients with Heart Failure with Preserved Ejection Fraction.
3 . 学会等名 Japanese Circulation Society Meeting
4 . 発表年 2020年

1 . 発表者名 Chishiki T, Nagatomo Y, Goda A, Kohno T, Takei M, Nishihata Y, Saji M, Toyosaki Y, Ikegami Y, Shiji S, Shiraishi Y, Kohsaka S, Yoshikawa T
2 . 発表標題 The relationship between glucose level on admission and long-term clinical outcomes in patients with acute decompensated heart failure.
3 . 学会等名 24th Japanese HF Society Meeting
4 . 発表年 2020年

1 . 発表者名 Kawai A, Nagatomo Y, Goda A, Kohno T, Takei M, Nishihata Y, Saji M, Toyosaki Y, Ikegami Y, Shiji S, Shiraishi Y, Kohsaka S, Yoshikawa T
2 . 発表標題 Sex difference in guideline directed medical therapy and its clinical impact in heart failure.
3 . 学会等名 24th Japanese HF Society Meeting
4 . 発表年 2020年

1 . 発表者名 Kawakubo Y, Shiraishi Y, Goda A, Nagatomo Y, Nishihata Y, Saji M, Takei M, Toyosaki Y, Ikegami Y, Shiji S, Kohno T, Fukuda K, Kohsaka S, Yoshikawa T
2 . 発表標題 Gaps in provision of guideline-based medical therapy in hospitalized heart failure with malnutrition: A report from the WET-HF registry.
3 . 学会等名 24th Japanese HF Society Meeting
4 . 発表年 2020年

1 . 発表者名 Yukino M, Nagatomo Y, Goda A, Kohno T, Takei M, Nishihata Y, Saji M, Toyosaki Y, Ikegami Y, Shiji S, Shiraishi Y, Kohsaka S, Yoshikawa T
2 . 発表標題 Association of non-invasive positive pressure ventilation use with tracheal intubation and short-term outcome in patients with acute decompensated heart failure.
3 . 学会等名 24th Japanese HF Society Meeting
4 . 発表年 2020年

1. 発表者名 Momoi M, Shiraiishi Y, Goda A, Nagatomo Y, Nihihata Y, Saji M, Takei M, Toyosaki Y, Ikegami Y, Kohno T, Fukuda K, Kohsaka S, Yoshikawa T
2. 発表標題 Measurement of discharge natriuretic peptide levels and its association with the outcomes in hospitalized heart failure patients.
3. 学会等名 24th Japanese HF Society Meeting
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 福岡 良磨 河野 隆志 香坂 俊 阿部 貴行 白石 泰之 澤野 充明 長友 祐司 合田 あゆみ 水野 篤 福田 恵一 Shadman Ramin Dardas Todd Levy Wayne 吉川 勉
2. 発表標題 Incidence and Prediction of Sudden Cardiac Death among Heart Failure Patients: Collaborative Study of WET-HF Registry and University of Washington
3. 学会等名 83th Annual Scientific Meeting of Japanese Circulation Society
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 長友祐司 小川翔 合田あゆみ 筋野容守 水野篤 白石泰之 河野隆志 香坂俊 吉川勉
2. 発表標題 HFrEFの疾患プロセスにおける左室リモデリングとは
3. 学会等名 第67回日本心臓病学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 内藤由朗 奥野圭祐 朝倉正紀 永井利幸 斎藤能彦 吉川勉 石原正治 増山理 安齋俊久
2. 発表標題 CKD合併心不全患者の血中ヘモグロビン値を考える
3. 学会等名 第67回日本心臓病学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 河野隆志 香坂俊 木村舞 白石泰之 吉川勉
2. 発表標題 心筋梗塞後心不全予防にむけた薬物治療
3. 学会等名 第23回日本心不全学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Yukino M, Nagatomo Y, Goda A, Sujino Y, Mizuno A, Kohno T, Shiraishi Y, Kohsaka S, Yoshikawa T
2. 発表標題 Use of non- invasive positive pressure ventilation is associated with worse short-term outcome after discharge for elderly patients with acute decompensated heart failure.
3. 学会等名 ESC Heart Failure (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Omote K, Nagai T, Kamiya K, Aikawa T, Tsujinaga S, Kato Y, Komoriyama H, Kobayashi Y, Iwano H, Yamamoto K, Yoshikawa T, Saito Y, Anzai T
2. 発表標題 Prognostic value of admission left ventricular outflow tract velocity time integral in hospitalized heart failure patients with preserved ejection fraction: a report from the JASPER registry.
3. 学会等名 European Congress Cardiology (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 山崎雄友 白石泰之 香坂俊 河野隆志 福田恵一 合田あゆみ 水野篤 吉川勉 長友祐司
2. 発表標題 心不全患者に対するトルバプタン外来継続投与の臨床実態
3. 学会等名 第252回日本循環器学会関東甲信越地方会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 長町千里、前川順子、富樫秋奈、高田まり子、三須一彦、高良綾子、薄井秀美、辺泰樹、寺岡邦彦、堀川良史、吉川勉
2. 発表標題 慢性心不全患者への外来継続看護支援の効果の検討
3. 学会等名 第23回日本心不全学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Eguchi S, Minami H, Morita Y, Kanegasaki A, Iwasaki K, Yoshikawa T, Oyama N
2. 発表標題 日本人心不全患者における繰り返し入院の現状: D P C データを用いた後ろ向き解析
3. 学会等名 第23回日本心不全学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Morita Y, Minami H, Eguchi S, Kanegasaki A, Iwasaki K, Yoshikawa T, Oyama N
2. 発表標題 D P C データによる、心不全医療費の解析
3. 学会等名 第23回日本心不全学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 長友祐司 船水岳大 佐地真育 吉川勉
2. 発表標題 腸腰筋面積で推定する筋肉量減少は心不全患者の退院後早期臨床イベントを予測する有用なマーカーとなる
3. 学会等名 第66回日本心臓病学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 秋田 敬太郎 河野 隆志 香坂 俊 白石 泰之 長友 祐司 合田 あゆみ 水野 篤 吉川 勉
2. 発表標題 Guideline-based Medical Therapy and Its Prognostic Impact in Elderly Patients Admitted with Acute Heart Failure with Reduced Ejection Fraction
3. 学会等名 83th Annual Scientific Meeting of Japanese Circulation Society
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 福岡 良磨 河野 隆志 香坂 俊 阿部 貴行 白石 泰之 澤野 充明 長友 祐司 合田 あゆみ 水野 篤 福田 恵一 Shadman Ramin Dardas Todd Levy Wayne 吉川 勉
2. 発表標題 Incidence and Prediction of Sudden Cardiac Death among Heart Failure Patients: Collaborative Study of WET-HF Registry and University of Washington
3. 学会等名 83th Annual Scientific Meeting of Japanese Circulation Society
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Sujino Y, Nakano S, Tanno J, Kanda S, Shiraishi Y, Goda A, Mizuno A, Ono M, Nagatomo Y, Kohno T, Muramatsu T, Kohsaka S, Yoshikawa T
2. 発表標題 Hemoconcentration-dependent predictive value of BUN/creatinine ratio at time of discharge in patients with ADHF
3. 学会等名 66th Annual Scientific Session of Japanese College of Cardiology
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Ono M, Mizuno A, Kohsaka S, Fukuoka R, Shiraishi Y, Kohno T, Nagatomo Y, Goda A, Sujino Y, Yoshikawa T
2. 発表標題 The prognostic impact of geriatric nutritional risk index at discharge in patients with acute decompensated heart failure
3. 学会等名 66th Annual Scientific Session of Japanese College of Cardiology
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Komeda M, Higuchi S, Goda A, Kohsaka S, Kohno T, Shiraishi Y, Mizuno A, Nagatomo Y, Sujino Y, Yoshikawa T
2. 発表標題 Efficacy of RAS inhibitors depending on the renal function
3. 学会等名 66th Annual Scientific Session of Japanese College of Cardiology
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Fukuoka R, Kohno T, Kohsaka S, Shiraishi Y, Sawano M, Abe T, Nagatomo Y, Goda A, Mizuno A, Fukuda K, Shadman R, Dardes TF, Levy WC, Yoshikawa T
2. 発表標題 Predicting sudden death in Japanese heart failure patients: International validation of the Seattle Proportional Risk Model
3. 学会等名 ESC congress (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Funamizu T, Nagatomo Y, Saji M, Yoshikawa T
2. 発表標題 Psoas muscle are as a novel index of sarcopenia predicts early clinical adverse events in patients with heart failure
3. 学会等名 22nd Scientific Meeting of Japanese HeartFailure Society
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 前川順子 長町千里 吉川勉
2. 発表標題 循環器専門クリニックにおける慢性心不全患者の背景因子と予後の調査
3. 学会等名 第22回日本心不全学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Iwakami N, Nagai T, Furukawa TA, Tajika A, Onishi A, Nishimura K, Ogawa S, Nakai M, Takegami M, Nakano H, Kawasaki Y, Alba AC, Guyatt GH, Shiraishi Y, Kohsaka S, Kohno T, Goda A, Mizuno A, Yoshikawa T, Anzai T
2. 発表標題 Optimal sampling in derivation studies determines performance of heart failure prognostic models
3. 学会等名 83th Scientific Meeting of Japanese Circulation Society
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 雪野 碧 長友 祐司 合田 あゆみ 筋野 容守 水野 篤 河野 隆志 白石 泰之 香坂 俊 吉川 勉
2. 発表標題 Impact of Non-invasive Positive Pressure Ventilation on Short-term Outcome for Patients with Acute Decompensated Heart Failure
3. 学会等名 83th Scientific Meeting of Japanese Circulation Society
4. 発表年 2019年

〔図書〕 計0件

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	香坂 俊 (Kohsaka Shun) (30528659)	慶應義塾大学・医学部(信濃町)・講師 (32612)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------